

おおづまち議会だより OZU

2025
110号

今月の定例会は

12月	3月
9月	6月



本会議動画配信
配信中



議会だよりが
読めるアプリ
マチイロ





ご あ い さ つ

大津町議会議長 桐原 則雄
他議員一同

令和7年の新春を迎え、議会を代表して謹んでごあいさつ申し上げます。

町民の皆さんをはじめ各方面におかれましては、平素から町議会に対しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、議会議員選挙が初めて無投票という中で、令和3年3月から、新人議員5人を含め議員全員が一致団結して、新たな議会構成で、夢と希望がかなう元気な大津町づくりを目指して、熊本地震からの創造的復興の加速化、今までに経験したことのない新型コロナウイルス感染症への対応、半導体企業(TSMC)進出関連に伴う事業などをはじめ町民の皆様や多くの関係者の皆様のニーズに応える各種施策や事業推進及び予算審議や議論を行い、町と一体となり取り組んできました。

新たなまちづくりの拠点であり創造的復興のシンボルである安心安全な新庁舎も完成し、気軽に利用される役場として、また、眺めの良い4階ロビーは多くの皆様に利用され喜んでいただいているところです。

議会としては、議会活動の拠点である新議場も完成し、ICT機能を充実し、議会の審議状況や一般質問のインターネットによる生配信や録画配信、タブレット端末を活用した説明資料や現地写真など議場内スクリーンに映し出し、より分かりやすい情報発信機能も強化しました。

また、町の福祉まつりに合わせた議会イベントや議場の一般開放、議会体験、各種団体、PTA役員や公募委員、区長会の皆様との情報交換や意見交換会、議会に関するアンケート調査をはじめ、ホームページに議会や委員会活動などの情報掲載、中高校生のジュニアリーダー夢議会の支援などにも取り組みました。

次に、議会の活動を知らせする「おおづまち議会だより」も、読みやすく、親しみやすい紙面づくりに取り組み、熊本市町村議会広報コンクールの特選や入選を受賞し、大きな喜びとともに、町民の皆様にあ読いただき感謝しているところであります。

更には、議会活性化委員会を設置し、議員のなり手不足をはじめ、町民との接点、議員定数、報酬、政務活動費など議論する中で、町特別職報酬等審議会の開催を要請し答申を受け、26年ぶりに報酬を増額するとともに、議会や議員活動の情報発信の強化など町民の皆さんの期待に応えることを付帯決議しました。そして、議員と議員、議員と職員が相互の信頼を深め、議会活動や勤務環境を確保し、住民から信頼される議会の実現を目指す「議会ハラスメント防止条例」を制定し、新たな取り組みも進めました。

町に対して、委員会や議会全員で審議、議論し、今後の町民の皆さんのニーズに応える町の政策や施策に対して、より充実、強化するように「大津町議会政策提言」を3年間続けて提出するとともに、国や県に対しても、要望書や意見書を提出するなど、議会議員全員で、一致団結して議会活動を進めてきたところです。

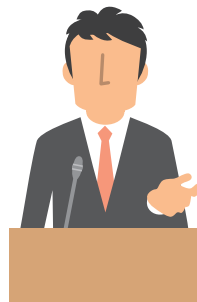
最後に、町民の皆さんと町及び議会が一体となり、更なる飛躍を目指し、4年間、議員一同全力で希望あふれるまちづくりに取り組んできましたことをご報告し、感謝とお礼を申し上げます。

議員報酬を引き上げ、議員の活動環境を整備

議員のなり手不足対策や、町を取り巻く社会情勢の変化、議員の役割が高度化などを踏まえた特別職報酬等審議会の答申を受け、議員報酬を引き上げました。

審議会答申の骨子

- ・「町村議会の低額な議員報酬」が議員のなり手不足の大きな要因とされている。
- ・町では、議員報酬が四半世紀にわたり見直しがなされていない。
- ・若い世代・勤労者の立候補や、議員活動をしやすいための環境整備の一つ。
- ・従来の「町長給与の30%」の水準ではなく、新たな原価方式による算定を行った。
- ・新たな議員報酬により議員の活動の活性化を期待し、一層の尽力を願う。



新たな原価方式での算定

議員の活動量を測定

↓
年間の活動量を推定

↓
町長の活動量と対比

議員5人の活動量を実測しその平均を年間108日分と推定。首長の平均的活動量の305日との割合を町長の給料額に乗じて算定する。

算定式

$$\frac{\text{議員の推定活動量 (108日)}}{\text{町長の活動量 (305日)}} \times \text{町長の給料額 (830,000円)} \\ \Rightarrow \text{議員報酬額 (293,000円)}$$

※新たな原価方式は、全国町村議会議長会が示している方法

報酬月額の見直し

(円)

役職	改訂前	改訂後	増加額
議員	249,000	293,900	44,900
常任委員長	261,500	301,300	39,800
副議長	273,900	313,200	39,300
議長	332,000	344,900	12,900

審議会の議論に先立ち、議会活性化特別委員会でも議員報酬の在り方について様々な視点から検討を重ねています。詳しくはこちらから。



議会ハラスメント防止条例を制定

全国の地方議会でハラスメント防止の取組みが広がっています。大津町議会でも、議員のハラスメント防止の意思を明確に示す必要があるとして「大津町議会ハラスメント防止条例」を制定しました。

ポイント① 対象者

議員と議員の間、議員による町職員等に対するハラスメントが対象です。

町職員等には、会計年度任用職員や、役場で働く派遣社員、委託先社員なども含まれます。

ポイント② ハラスメントの種類

「パワハラ、セクハラ、妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント」や「誹謗中傷、風評等による人権侵害や不快にさせる行為」が対象です。

ジェンダーハラスメントやSOGIハラスメントなどその他のハラスメントは法的な定義がないため条文には明示していませんが「人権侵害等」に該当すれば対象となります。

ポイント③ 相談窓口

議会事務局が相談窓口です。

実際にハラスメントがあったら・・・

議長が、議会運営委員会、第三者や第三者審議会から意見を聞き、「指導・助言・注意」「氏名の公表」「被害者の被害回復」などの措置を行います。

条例が例規集に掲載されるまで期間があるため当面は議会ホームページに「条文」と「解説」を掲載します。



ジュニアリーダー夢議会



10月15日(火)、ジュニアリーダー夢(JLD)議会が開催され、大津市内の2つの中学校と3つの県立学校から10名が参加しました。
次代を担う若者が町長に対し直接質問や提案を行うことで、政治を身近に感じる機会となりました。
質問は町で生活・通学する中で感じた課題を、町の計画などに照らし合わせながら提案に結び付けていて、よく考えられている内容でした。
若者視点で課題をとらえ、解決するためのアイデアが盛り込まれており、一度で終わるにはもったいない印象でした。
また、学生の中には去年に続き参加した学生もあり、頼もしさを感じました。

議会活性化特別委員会

ジュニアリーダー夢議会

大学生レポート

定例会総括

委員会レポート

一般質問

●大津北中学校

【環境に配慮した

エネルギー活用について】

みやぎ ちひろ
宮崎 千寛 議員



【質問】 ①企業と連携し室外機で発電できる機械の導入、②カーポートでの太陽光発電、③自転車や公共交通機関を利用し二酸化炭素排出を減らす取り組みを提案します。
そして、環境に優しい町づくりを行うために、エネルギーの活用や使用料の削減などを推進する政策について質問します。

かわなべ えみな
川邊 絵美菜 議員



【感想】 今回、「ソーラーカーポート」は環境省の支援政策があることを知りました。今後、積極的に商業施設や企業などに案内を出して取り組みが進めばいいと思います。一人ひとりが少しずつ身の回りのことについて考えると、もっと過ごしやすいまちになると思います。

●大津中学校

【学校給食の課題と改善について】

わたなべ みさき
渡辺 実咲 議員



また、給食センターのスペース確保のためにセンターの増築もしくは、もう一つセンターを建設する考えはありませんか。

はまだ けいと
濱田 慧斗 議員



【感想】 残滓は食べる側と提供する側のどちらか一方だけの問題ではなく、双方で努力をしていく必要があると感じました。今後栄養と味のバランスを取りながら、美味しい給食を提供して下さることを期待しています。

●大津支援学校

「大津町の交通安全について」

さかい くら
酒井 拍羽 議員



【質問】 自力で支援学校へ登校する生徒からの①見通しのよくない道路へのカーブミラーの設置、②道路のわだちを減らし安全安心な道路整備を、③安全に通学するための自転車専用道路の設置などの意見があります。この3点を踏まえて、大津町の交通安全の考え方を質問します。

いしざか なお
石坂 凧央 議員



【感想】 カーブミラー設置は区長さんや交通安全協会が関係することを初めて知りました。横断歩道をカラー化することで視認性を向上できるとの案を聞いて、歩行者の安全について考えられていると感じました。道路拡幅計画や、自転車専用道路の整備計画は通学者にとって大きな安心材料になるとと思います。

これから地域全体でよい町づくりができるように、私達も交通ルールを守り協力したいと思います。

●大津高等学校

「坂道の不便さの改善と新たな視点での活用について」

やました きいち
山下 輝吉 議員



【質問】 大津町に坂が多いことによる生活の不便性の改善と、それに伴う観光資源の確保について、普段の生活の利便性を向上させるためにサイクロケールという自転車リフト等を設けることはできませんか。観光の点でも意味があると考えます。

まつもと みと
松本 碧心 議員



【感想】 サイクロケールの設置については、設置する場合は法律により道路の幅を変えなければならないということは理解しました。今後は大津町から阿蘇の間にあるサイクリングコースのように観光資源になればいいのではないかと思います。また、坂道があることで健康促進や体力維持にもつながり、決して悪いことばかりではないということもわかり、よりよい町づくりにについて考える機会になりました。

●翔陽高等学校

「外国人移住者や観光客支援、通学・通勤者支援について」

あなん らいか
阿南 来夏 議員



【質問】 肥後大津駅周辺まちづくり基本構想を参考に観光面・通学面で利用しやすくなるように、「北口」「南口」それぞれの場所に何があるかなど記載されている看板の設置を提案します。その際、多言語表示や町内の学生が考えたピクトグラムを掲示するとさらに良いと思います。また、公式インスタグラムや公式ラインの機能の更なる活用も提案します。

うめだ りほ
梅田 莉帆 議員

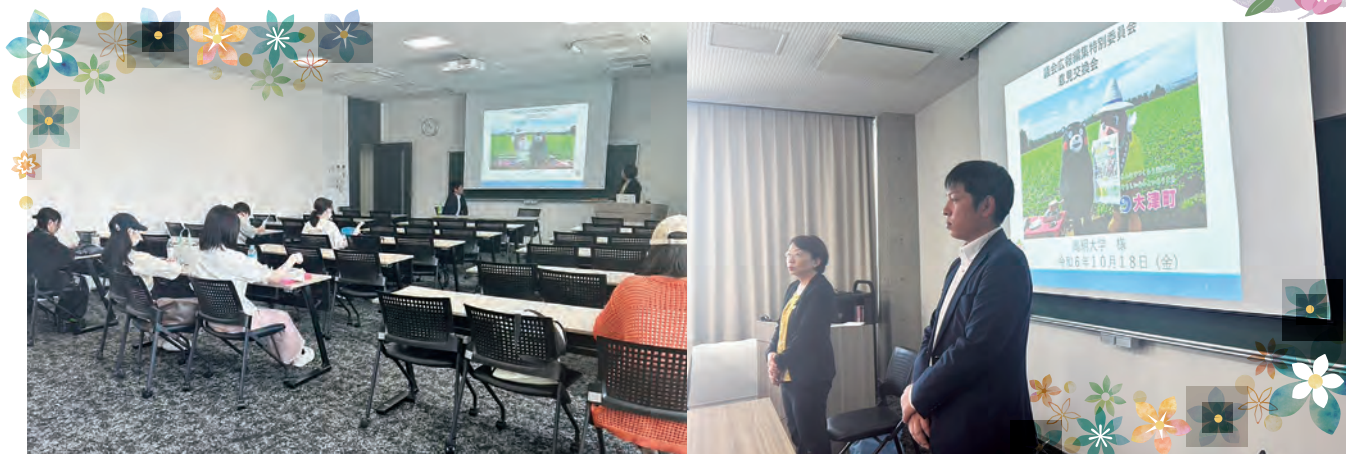


【感想】 今後、学生の考えるピクトグラムの採用が可能とされた場合「誰でも過ごしやすい大津町」ピクトグラムコンテスト」を提案します。

また、ビジターセンターの名前ももう少し親しみのあるものに改名し周知すれば、役割を十分に発揮できると思います。

大津町議員との意見交換会を終えて

このたび尚綱大学現代文化学部3年生と大津町議会広報委員と意見交換会を行いました。学生のうち、以前1年生のとき議員と交流した者もあり、学年があがって再びお話をうかがうと一層理解が深まったものと思われます。政治、地域の問題に対する理解をこのようかたちで若者に届けられ、授業の担当者としてはとても喜ばしく思います。以下学生の声を抜粋し紹介します。(担当教員 黄蘊)



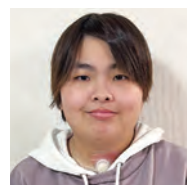
現代文化学部
3年

市川 あいさん

今回は、議会広報編集特別委員会の議員から次のお話を伺い、「おおづまち議会だより」について意見交換を行いました。

町議会議員というと国会議員や県議会議員より身近な存在ですが、自分とは遠い存在という感じがしていました。ですが、今回お話を伺ったお二人は子育てをしながらだったり、農家をしながらだったり普通の町民としての面も持っていることがわかりました。さらに、母親や農家という様々な立場の人が議員になることで全ての町民が満足に暮らせる自治ができるのだなと気づきました。

議会だよりは、表紙に子どもの写真が使われていたり、一般質問のページで議員の顔写真が掲載されているなど写真が多く読みやすいと思いました。委員会レポートでは、委員会ごとに色分けされていてどの部分で分割されているかわかりやすかったです。議会広報編集特別委員会の方々が読みやすいように様々なリニューアルをしていると聞いて、自分の町の議会広報誌と比較してみようと思いました。



現代文化学部
3年

藤好 彩花さん

3人の方のお話を聞いて、自分が感じた点は2つです。1つ目はTSMCが大津町に進出してきたこと。2つ目は大津町の議会だよりについてのことです。

1つ目のTSMCについていうと、私が今回のお話を聞くまで、TSMCが進出して来ていいな、羨ましい、大津町に来てくれたことでメリットが沢山あると思い、デメリットの事など、全く考えていませんでした。しかし、今回のお話を聞いて渋溝やインフラ整備、中国や台湾、フィリピン（アジア圏）の働き手の子どもの受け入れ、多文化共生が日本の生活だけでは成り立たず、TSMCが進出して来た事による文化の違いに戸惑う子どもや家族も増えていくのではないかと感じました。

2つ目の議員だよりについては、私は毎月発行される市の広報に目を通すようにしていますが、その中に議会だよりが添付されていることもあるのですが、住んでいる市の議会だよりは活字ばかりで、ほぼ読む気になりません。大津町の議会だよりは内容が簡潔にかつ、分かりやすく掲載されていて、短い時間でしたが分かりやすかったです。その他にも、2ページ目には立候補者の手続きに関することも書かれていて、目に見えず知らない事も紙面に載せてくれる事で、どのような道順でやっているのかが分かるので安心して投票ができると感じました。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚龍 一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本富 二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀貢	時松 智弘	田代 元気	大村裕 一郎	賛成 (○)	反対 (●)
議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	-	●	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	11	3
令和6年度大津町一般会計補正予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	●	○	13	1
大津町議会ハラスメント防止条例の制定	-	○	○	●	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	13	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 棄は(棄権) 欠は(欠席)

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会

検索

本会議動画配信



議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

ながた かずひこ
永田 和彦議員

問 議員報酬を改定する説明で最初に出てくるのが、議員の成り手不足だが、なり手不足の要因は議員報酬とは別にあるのではないか。

答 全国議長会の報告書で議員の成り手不足という項目があり、議員にならない要因として二つあり、一つは議会や議員の魅力が伝わらないで、二つ目に議員報酬が低いということであった。

ときまつ ともひろ
時松 智弘議員

問 公共施設予約システムによる小中学校施設利用予約について、条例改正により電子化して受付をすることにより職員の手間が省けるが、紙媒体による申請も残る。電子申請と紙媒体での申請はどちらに優先順位があるのか。

答 システムで確実に空いている確認をした上で紙媒体申請は受付をする。今後運用を3月から行うに当たり、事前に説明会などを実施しながら、電子申請と紙媒体の申請の取り扱いなどの整合性を図っていく方向で進めていく。

やまべ りょうじ
山部 良二議員

問 町の包括支援センター常勤の定数は5人であり、実際は4人しかいないと認識している。今回の条例改正でどう変わるのか。また、今後は後期高齢者が増え支援が必要な人が増加します。そのためには正規職員を置き、会計年度任用職員の人にはその他の支援業務をやっていただく必要があるのではないか。

答 今回の改正は、包括支援センターの人材確保が困難となっている状況から、職員の配置基準を緩和する改正である。会計年度任用職員2名を常勤換算し、定数に足りる配置基準になる。正職員の募集はしているが、応募が増えないという現状で、今回弾力的な運営をしていく。

あらき としひこ
荒木 俊彦議員

問 重度心身障害者医療費助成の現物給付は大変喜ばれているが、現物給付化に伴い支出見込みが増額するということで、現物給付がなかった時は、申請漏れがあったということだと思うがその分析はなされているのか。

答 重度心身障害者医療費助成については、当初から申請漏れはあり、今後、現物給付化に伴って、助成金が増えるということは町としても分析していた。今回、増額を勘案した見込みで補正予算を形状している。

さとう しんじ
佐藤 真二議員

問 体育施設利用料をキャッシュレスで払う場合の手数料を町が負担しようとしているが、利用料を収入とするのは指定管理者なので、指定管理者が負担すべきものではないか。

答 町負担で考えていたが、今後検討して、協議をする。

委員会レポート

総務



総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属しています。本会議にて各委員会に委ねられた議案は委員によるさらに深い審議を経て、委員長が議会で報告します。

経済建設



文教厚生



総務常任委員会	総務課 総合政策課 財政課 防災交通課 人権推進課 住民課 環境保全課 税務課 会計課 議会事務局
経済建設常任委員会	農政課 商業観光課 企業振興課 都市計画課 建設課 下水道課 工業用水道課 農業委員会
文教厚生常任委員会	福祉課 子育て支援課 介護保険課 健康保険課 学校教育課 教育施設課 生涯学習課

総務委員会

人口増加に対応を



研修成果の報告など情報開示も重要

議員活動の「見える化」が課題

◎ 他の町議会では政務活動費の項目として「広報広聴費」が計上されている。議員個人の活動の「見える化」のための予算だ。議員は個人の広報力を示さなければいけない。特別職報酬審議会では広報広聴について意見は出ていたか。

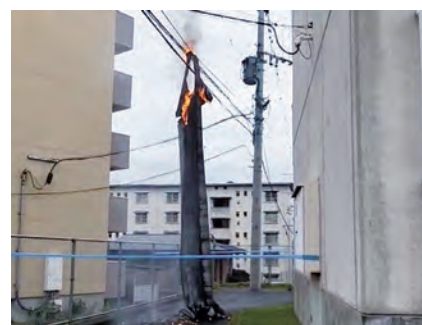
▲ 議会だよりから個人のサイトに誘導するような2次元バーコードをつけ、個人の活動がわかるような仕組みづくりをしては、という意見があった。

▲ 火災の場合、消防本部から町職員、消防団員へメール通報がある。それを受けた団員は団長指示として出動する。

火災通報連絡がない場合でも、団員が地域の中で火災を認識すれば団長の指示を待つことなく出動することとなっているので協力願う。

◎ 先日、町営住宅敷地内で電線の火災があり地域の自治会が初期消火をされた。その後、町消防署で対応している。最近では開発行為が加速し工事をしている建屋の火災も心配だ。対応の状況は。

建築資材の火災や漏電火災の対応は



建設現場シート飛散による通電火災

経済建設委員会

大津町の工業団地造成の状況は



中核工業団地

企業進出の状況は

◎ 企業の進出など情報はどのようにして収集しているのか。

▲ 戦略的企業誘致支援業務委託の中で新たな投資を検討する企業などと面談を行い、町の優位性などPRを行っている。TSMC第2工場の稼働前にはサプライチェーンの企業も進出しておかないといけないと言われていて、現状もあるので、企業誘致についても、引き続き、情報収集していく。

工業団地造成による影響はないのか



新工業団地建設予定地

◎ 杉水地区の工業団地整備において、地権者以外で、工業団地整備に不安を言われている人はいないのか。住民説明会で、「工業団地ができるのであれば、ここに住まなかった」と言われた人もいた。近隣小学校の保護者へも丁寧の説明していただきたい。

▲ 昨年実施した住民説明会で、通学路や住宅街を通り抜ける車が増えることを不安視する意見をいただいている。昨年度は護川小のPTA会長とも意見交換を行い、安全対策についての意見を伺っている。今後も、住民説明会を実施しながら、しっかりと安全対策についても説明していく。

文教厚生委員会

適切な運営と管理を

歴史文化伝承館の利用者は



歴史文化伝承館

◎ 年間の利用者数から考えると1日当たり10人程度であるがどのような利用があるのか。

また、図書館や生涯学習センターと統合すれば利用が増えるのではないか。

▲ 利用者は年々増加傾向で、小中高の総合学習や、各種団体の講座、研修で需要が伸びている。現時点では、歴史文化の普及振興を他施設と統合することは難しい状況である。

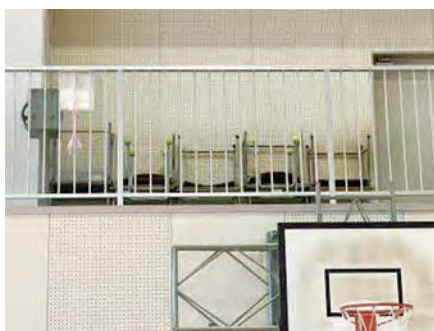
不要な備品は適切に対応を

◎ 児童生徒数増加のための机、いすの購入だが、児童生徒数の動向はどのような状況か。

また、不要になった備品は適切に処分を行うべきである。

▲ 小学生はすでに減少傾向であり、中学生は令和7年度がピークとなりその後減少傾向となる見込みである。

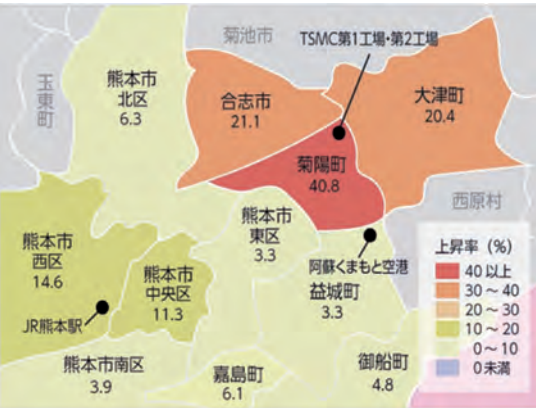
備品については、学校とも協議をおこない、期日を決め処分するなど、対応していきたい。



体育館の2階におかれる備品

Q 地価上昇や家賃高騰に町は対策を行うべき

A 国土利用計画法の区域指定へ県と相談する



ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



Q 不動産事業者が出した資料によればTSMC進出後の家賃動向は熊本市と大津町の家賃が逆転しているところあり、驚きをもって受け止めた。

A 都市計画が順調に進展し重層的かつ強化された公共交通や道路整備と相まって、生活の利便性が向上しているのならば地価高騰も理解できるが、実体のない投機的な地価高騰はまちづくりを壊し、公共事業を阻害する。国土利用計画法の区域指定の働きかけや、土地の利用や急激な地価上昇に関する町民の意見を汲み対策すべきではないか。

急激な地価の上昇を緩和し住み暮らしやすいまちづくりを
(アットホーム(株) [TSMCの熊本県進出に伴う工場周辺エリアの家賃動向] より)

その他の質問

- ・町長の立候補表明を受け、都市計画、道路インフラ整備の指針を伺う
- ・コンプライアンス遵守と意識徹底への町の指針・取り組みを伺う

A 急激に開発が進んでおり、それに伴い地価も高騰している状態。土地の投機的取引もその一因と考えられる。

国土利用計画法では注視区域・監視区域・規制区域が指定できるが、県内では現状、区域は指定されていない。

工場周辺や町中心部の土地価格が上昇している状況もあるため、今後区域指定について検討する余地がある。

大津町のみならず、近隣市町村も同様の状況にあることが想定されるため、一体的な検討を県に相談していく考えだ。

(町長)

Q インクルーシブ教育の実現を

A 関係機関の声を聞くことが必要



さりげなく添えられる
「大丈夫だよ」の手



いつの間にか繋がるようになったランドセル列車

とよせ かずひさ
豊瀬 和久議員



Q 学校卒業後まで含めて、障がいのある方々が社会で自立して生きるために必要となる力を身に付けることが重要だ。

しかし、分離教育で育ち、異なる背景を持つ人々との共生経験が不足した子どもたちが大人になり、地域や職場で関わるようになったときに、問題なく接することができのかが心配だ。

これからは、障がいのある子どもと障がいのない子どもがともに学ぶインクルーシブ教育の実現が重要であり、保護者と指導目標や指導内容、方法などの共通理解を図るべきではないか。

A 学校や保護者との橋渡しを担っている福祉課や子育て支援課との連携を重視しており、互いの会議に参加する中で、現状や課題、教育支援の仕組みや流れを共有している。

関係機関の声を聞くことが必要だと考えているので教育委員会がこれまでに参加していなかった会議の場にも、積極的に参加していく予定であり、意見交換、あるいは情報共有の場にもなると考えている。

それぞれが考え、抱えている不安や疑問などを受け止めながら、よりよい特別支援教育の在り方を検討していきたい。

(教育長)

その他の質問

- ・投票率向上の取り組みについて
- ・マイナ保険証の普及と利用促進について
- ・都市計画マスタープランの見直しについて
- ・感震ブレーカーの普及啓発について

Q 水泳の授業の民間委託とスポ森へのプール設置を

A 最も現実的かつ有用な手法だと考える



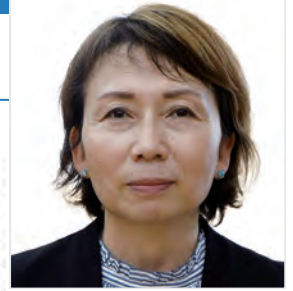
古賀市ホームページより抜粋

屋内なので季節や天候に左右されません。全体監視員も含む9人のインストラクターが指導してくれます。評価は学校の先生たちがします。さらに、授業前後の先生たちによる水量の管理、水質チェック、危険個所の点検、清掃などの負担もなくなります。働き方改革ですね。

その他の質問

- ・小中学校へのタブレット導入の検証
- ・町民が住んで幸せと思える町にするために町ができることは何か

さんのみや
三宮 美香議員



Q 子どもたちの泳力向上のために、専門的な資格を持つ民間に授業を委託してはどうか。また、町内には9校の小中学校があるが、1校に1つのプールを維持するためにかけたきた資源を複数の学校でシェアすることで、教師の負担軽減、働き方改革や財政負担の軽減につながるのではないかと考える。そろそろ水泳の授業の在り方を考える時期だと考える。

A 町として計画と方針を持ち、学校やプール改修の必要のたびにプールを集約し、どこかの時点で複数の小中学校が授業でも活用する総合町民プールとして運営することが時間は要するが最も現実的かつ有効な手法だと考える。
(町長)

A あくまでも体育における水泳の授業は教育の一環で行われるものであり免許を有する教員でなければならぬ。
(教育長)

Q 危機感を持ち早急な対応を

A 職場環境の改善を継続する

たしろ
田代 元気議員



Q T S M Cの進出以降、本町や近隣地域ではさまざまな問題が起きている。

最近では、人件費の高騰により、多くの職種で人材不足が問題となっており、業種間での人材の獲得競争も起きている。熊本県庁では、10年前に比べ、退職者は約2.5倍、志願者も300人ほど減っており、本町でも対岸の火事と捉えることはできないと考える。

また、会計年度任用職員について、保育士や給食センターの職員は毎月のように広報おおづで募集しており、早急な対応をしなければ役場機能に大きな影響を与えると考えるが、どのような対策を考えているのか。

A 全国的に公務員離れが生じており、本町でも本年度の新卒採用試験の一次試験受験者が16人と激減し、人材確保に苦慮している。

また、若年層の転職、退職者も増加傾向にあり、特に採用から3年以内の離職者が目立っている。

新卒の受験者が減少する中、2年前から開始した社会人枠の中途採用は応募数も多く、採用後は即戦力としてプロパー職員との相乗効果が生まれている。

会計年度任用職員については、正規職員とのバランスを考え、必要な採用は継続していかねばならないため、処遇改善とともに、働きやすい職場環境の改善を継続していく。
(町長)

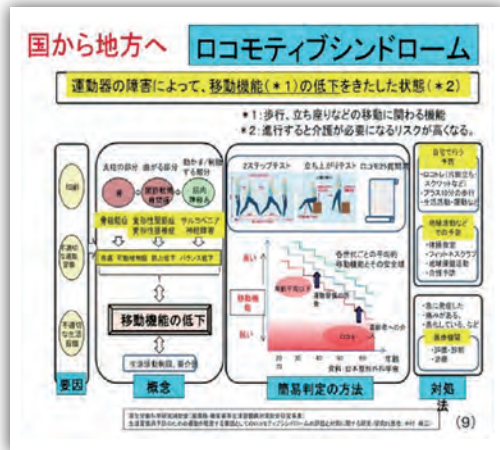
その他の質問

- ・中学校部活動の地域移行について

Q 健康長寿社会の実現を

A 町民の健康寿命の延伸を図る

やまべ しょうじ
山部 良二議員



Q 町民が生き生きと過ごすためには、長寿であるだけでなく、いかに健康寿命を保つかが重要。平均寿命は約80歳に達し、運動器の障害（ロコモ）によって支援や介護が必要な方が増えている。来年は、懸命に日本を支えてきた団塊の世代の人々が後期高齢者になり、より高齢化が進む。今後、公共交通の便が悪く、家に閉じこもりがちな高齢者に対し外出の機会を提供し「仲間との交流」「健康づくり活動」が重要。対策として「温泉施設」「まちなかバス」など利便性の向上を目指すべきではないか。

A バス停が増える事で速達性や利便性への影響も踏まえ、今後の運行ルート見直しや必要性などの検討に取り組む。また私も、町内に温泉を求める声があることは承知している。温泉のある宿泊施設などに、町民への開放や町民向けの割引制度などが出来ないか相談している。トップセールスで、温泉施設の誘致を図っていく。（町長）

その他の質問

- ・通学路の安全対策について
- ・調整池の整備について

Q 南部・北部の街づくりをどう進めて行くのか

A 移住支援金を東小学校区ときた小学校区に限定する

やまもと ふじお
山本 富二夫議員



新潟市立高志中等教育学校
水と上井手散策コース

Q 大津町の中心部では多くの住宅開発、護国小学校区では多くの企業進出があるが、その他の地域は取り残されていると町民は感じている。北部地区ではようやく、田の圃場整備事業が始まった。南部地区、特に米麦中心の農家は、農業後継者が少なく農振を外して欲しいとの相談を受ける。町長は地産地消の取り組みを最重要課題ととらえ、町民の食糧は100%大津町で確保出来る政策に取り組んで欲しい。私たちのグループ、おおづ水と歴史の会と大津町観光協会は新潟市立高志中等教育学校30名の教育旅行を受け入れた。町も北部地区の綺麗な

水を利用した散策コースの開発や南部地区の白川を利用した観光誘致を考えてもらいたい。
A 杉水と矢護川を結ぶ道路整備や矢護川・片俣の圃場整備、南部・東部における岩戸の里の跡地利用、運動公園の魅力向上、中間駅及び付近における住宅開発や商業施設の誘致等を考えている。過疎化対策として、移住支援金の交付対象を大津北小学校と大津東小学校に限定し移住者を呼び込み小学校を核とした地域全体の活性化に取り組みたい。
大津町の自然を生かしたまちづくり、にぎわい、住み暮らしやすいまちづくりを進める。（町長）

その他の質問

- ・小中学校の熱中症対策は

Q 人材不足。離職を防ぎ職員を守る方策は

A 離職者の少ない組織づくりを進める

さとう しんじ
佐藤 真二議員



近年の職員採用数と退職数の推移

(職員の定数=242人)

	R4			R5			R6		
	期首	中途	期末	期首	中途	期末	期首	中途	12月
職員数	208		202	209		200	219	220	216
採用	11	1	7	4		19		1	
退職	定年		1			1			
	その他		1	5		1	11		4
	計		7			13			4

退職者が多く職員の確保が追い付かない

その他の質問

- ・事業調整や財政計画はいつ説明されるのか。

Q 先日、職員のハラスメントにより、被害を受けた職員が退職した。職員が厳しい状況に置かれ離職者も増えている。

A ①現在、定年前に退職する職員が大幅に増加している。カスハラに対しては電話の録音や県警からの職員派遣を予定している。若手職員には「やる気が上がる」、管理職には「Z世代の部下との相互理解」研修を継続する。社会人経験者のキャリア採用も導入する。

②類似団体と比較した部門ごとの最適配置数の再検討も行う。

③しっかりと仮説を立てて単にA案がいいだろうではなく、A案B案C案を考え精査してもらいようなことを求めている。ただし、本当に細部を詰めていくと、いつまでも決まらないので、どこかで見極め決めるべきこととは決める。

(町長)

Q 地域計画の精度は確かなものなのか

A 地域の農業者の意向を把握しながら精度を高めていく

おおむら ゆういちろう
大村 裕一郎議員



地域計画の座談会会場

Q 令和6年3月定例会の一般質問にて優良農地の確保と農業がやりやすい環境の整備、将来の農業の担い手確保のため地域農業者の意向を把握しながら地域計画を策定するとの答弁があった。そして、9月～10月に地域計画の策定に係る協議が各地区で行われ、地域の農業者の意見の集約が行われた。しかし、農繁期で日中の開催ということもあり参加が少数だったがその精度は確かなものなのか。

A 令和6年度中に、地域農業の将来の在り方と一筆ごとの担い手を示す目標地図を加えたものを策定する必要があるが、策定後も担い手の農地集積状況などにより、随時見直しをする必要がある。見直しに伴う座談会を設ける際には、開催時期や時間も考慮し、座談会などでの意見を最大限反映させることで計画の精度を高いものにしたと考えている。今後とも様々な取り組みや協議の場において、地域の農業者の意向を把握するとともに、県や農業委員会、農業関連団体等の関係機関と連携し、優良農地の確保と農業がやりやすい環境の整備、担い手確保に取り組んでいく。

(町長)

その他の質問

- ・渋滞対策について

Q 物価高、人件費問題に苦しむ事業者に支援を

A 令和7年で終了の為そこで検討

熊本県商工会連合会 提案・要望項目

1. 原油高、原材料高騰の影響を大きく受ける事業者への支援
2. 最低賃金引上げ、賃上げ対策への支援
3. 資金繰りへの支援
4. 地域経済を支える商工会の支援体制の強化
5. 事業承継、創業支援の強化
6. DX支援体制の継続強化
7. 青年部・女性部活動への支援
8. 商工会館の機能強化
9. T S M C 熊本進出効果の県全域への効果波及と台湾との経済交流促進
10. 食のみやこ熊本県の創造に向けた物産振興支援

にしかわ ひでつぐ
西川 秀貢議員



Q 町は現在、創業等の補助金による支援を既に行っている。町内産業の活性化又は税収向上を考えるならば現在の補助金の要綱を変えてでも手厚い支援が必要であり、補助対象者に対し審査の土俵にのせるまではするべきである。要綱を変えた事により、土俵にすらのれていない事業者が多々ある。行政の都合により1年で変更したが、もう少し様子を見るべきだったのでは。事業者は1日1日が勝負である。今一度町を支える事業者の現状を真剣に

考え、魂のこもった施策にするべきである。農工商併進とは、「農業と一緒に工業、商業も育てて行こう」と言う事だと理解している。出さない為の補助金が必要ではない。

A 町としてこれまでに、燃料高騰対策運送事業者支援事業や店舗改装等の利子補給による支援、商工会への支援体制強化として助成金の引き上げなどを行ってきた。今後は、金融機関と連携した取り組みも考えている。創業等支援の補助制度については、令和4年度、令和5年度で創業・新分野進出へのチャレンジが26件あり、令和7年度末で期限を迎える制度要綱については、現行のままの支援を行いたいと考えている。社会情勢が大きく変わる中で、今後様々な変化が想定されるところだが、農工商併進しながら更なる発展ができるよう施策を進めて行く。今は要綱変更を考えていない。
(町長)

Q シニアカーのための歩道の整備、点検

A シニアカーに配慮した道路整備を進める

さかもと のりみつ
坂本 典光議員



最近のシニアカー

Q 足が不自由でも、人に頼らず、気兼ねせずに、自分の意志で自由に外出できたら、こんなに楽しいことはない。

その道具が「電動車いす」であり「シニアカー」と呼ばれている。

法律上は歩行者と同じ扱いなので免許はいらない。歩道のある道路では歩道を利用することになる。歩道の整備、点検が必要である。

A 町道において歩道が未整備であったり、シニアカーの走行に適してないところがある。今後、道路整備や維持管理を進める中で安全性はもとより、利便性や地域性を検討し、歩行者やシニアカーにも配慮した道路整備を進めるつもりである。

A 歩行者と同じ交通ルールとなるので歩道がない場合は歩行者と同じように右側通行となる。道路を整備する際はシニアカーが利用できる歩道は歩道幅員を2m以上になるように推奨している。
(部長)

議会を観ての生の声

翔陽高校

12月定例会の傍聴者数のべ60人、ライブ配信再生回数846回 録画配信再生回数67回(12/24時点)



おおが ちひろ
大賀 千凜さん(菊池市(旭志中)出身)

今回、政治経済の授業において、初めて議会傍聴をさせていただきました。半導体企業の地下水大量取水のような、県民の宝である地下水を守らなければならないという大津町だけでない熊本県の課題などを再認識することができました。現在私たちは町の行政にただ従う、こう決まったからこう過ごすという形になっているのではないかと感じました。このことから私は、自分たちが暮らしやすくより快適に過ごすために、自分たちで地域を創り上げる必要があると思いました。まず周りの友達や家族に地域の現状を知ってもらうためにも、今回の傍聴経験を活かし、自分の住む自治体の議会傍聴などに出かけ、政治への関心を高めていこうと思います。



ひがし いちご
東 一護さん(合志市(合志楓の森中)出身)

今回実際に議会傍聴をしてみて、自分が知らない大津町についての課題がたくさんあり、実は自分の住む自治体などにも深く関わってくる問題も思っていた以上にあることに驚きました。自分に見返りが直接あるから、課題解決に参加するのではなく、誰かのために何か行動を起こすことが「政治」をすることに繋がるのではないかと考えました。どんな課題があり、それについてどう行動できるか考え、そして行動する。一人で行動できなかつたら周りを巻き込みながら些細なことでもできることをまずはやってみることが大事だと思いました。



編集後記

次回定例会は

3月10日(月)開催予定

(日程は変更になる場合があります)

日程 3月10日(月)~25日(火)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集: (委員長) 三宮 美香 / (副委員長) 豊瀬 和久
(委員) 時松 智弘 / 田代 元気 / 大村 裕一郎
発行責任者: (議長) 桐原 則雄

令和7年1月15日 第110号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

「議会だよりOZU」の愛読者を増やすべく、この4年間、委員一丸となり取り組んできました。

熊本県町村議会広報コンクールでは、令和4年に「特選」、令和6年に「入選」を受賞し、1つの結果として評価をいただいたと思っています。

町民の皆様からの厳しいご指摘やご感想は、より良い議会だよりを作る上での貴重なご意見として、毎回ありがたく受け止め紙面に反映させてきました。

このメンバーで議会だよりに携わるのは今号で最後になります。ありがとうございました。

今後も議会だよりの良き愛読者としてのご意見をよろしくをお願いします。

委員長 三宮美香